豊友会東京支部　2023 年度春季総会報告

飯島　弘

本年 6 月 7 日（水）、池袋のホテルメトロポリタンにて、特別講演にエーザイの内藤晴夫代表執行役　CEO（豊友会会長）をお招きして春季総会を開催しました。4 年ぶりの懇親会を伴う総会に、ゲストとしてエーザイから高橋　健太専務執行役、赤名　正臣常務執行役、中濱　明子執行役の 3 氏と、本会全国各支部の代表 15 名を加え総数 241 名と、大変多くの方々に出席していただきました。

田　芳郎理事の開催宣言で開始され、冒頭に 2022 年 11 月から本年 5 月末日までにご逝去の連絡をいただいた会員 14 名のお名前を鈴木麻弥理事が読み上げ、全員で黙祷を捧げました。

次に石井三郎支部長が総会開催の挨拶と共に、22 年度活動報告と 23 年度活動計画について報告されました。豊友会がめざすもの、共有しておきたい3つの思い「息災」「感謝」「存続」の指針を前提として、次の4つの切り口から支部活動を実施する。

①「情報」 タイムリーな情報収集と発信
②「参画」 総会、集い、同好会、社会との関わり
③「交流」 エリア交流会
④「コラボ」ECLとのコラボへの協力と推進

また 23 年度は、新たに会員が多く在住する都内以外の地区での会員交流会の開催を計画し、第一弾として茨城（つくば）地区が候補として挙げられました。

岡林　功前理事長からは、退任のご挨拶として 9 年間の理事長在任期間を振り返り、会員各位の支援に感謝されるとともに、会員数が頭打ちとなる中で新たな活動を模索する必要性などの課題と、今後の豊友会活動への期待が述べられました。

土屋　裕新理事長の挨拶では、活動方針として以下の 5 点があげられました。

①　対面活動の再開による活性化
②　豊友会の活動状況の情報発信
③　エーザイとの連携の推進
④　社会との接点として SDGs 活動の継続
⑤　豊友会設立 40 周年（25 年度）記念行事の準備開始

特に豊友会への参加率を向上させるための各支部からの活動内容発信の重要性と、エーザイの「応援団」としての連携が強調されました。

事務局から 22 年度決算と 23 年度予算及び近年の会員動静が報告され、福井泰子理事から SDGsプロジェクトの 22 年度の活動報告とともに、会員の取り組む日常的な SDGs 活動の積

極的なホームページへの投稿がお願いされました。

2023年度　豊友会 東京支部総会
2023年6月7日
CEO

その後、休憩を挟んで内藤 CEO の特別講演になりました。ご講演は、23 年年頭の抱負を述べた色紙「野のウサギ飛びて天下の晴れとなる」で始まりました。まず「Eisai Now」と題して、国内外地域別に 11,000 名を超える社員数と 7,400 億円超の売上高の事業規模、および筑波、川島、中国、インド、米国などの事業所の最新状況が、多数の写真を交えて紹介されました。併せて当日出席の OB・OG の方々の懐かしい写真も紹介されました。

続いて、アリセプトからはじまり、認知症治療の新たなページを開く新規治療剤として 2023 年 1 月に米国で新発売されたレカネマブに至るまでのアルツハイマー病治療薬の研究、開発の歴史と事業成功の要因について、次の4つの条件が整うと思いがけないような強い運気に守られた僥倖に恵まれることがあると述べられました。

① 人、どんな人
② 人と付随する技術の充実
③ 要素を組み合わせる、何が成功への基本要素か見極める
④ 入念なる準備と仕込み

さらに現在のエーザイの成長を支える抗がん剤レンビマの対象がん領域の拡大と展望について、ご説明いただきました。

後半では、エーザイが定款に定めた企業として社会に存在する意義と、一例として取り組むフィラリア症治療薬のプライスゼロでの提供を上げられませした。また、現在目指している新しい事業モデル hhceco モデルについて紹介いただきました。

最後に豊友会に対し、①長年にわたり社の成長や価値を支えてきた人々の集団、②社に対して最も強い想いを持つ唯一無二のステークホルダー、③良い時も悪い時も一心同体であり続ける最重要な存在と述べられ、エーザイへの支援に期待する言葉もいただきました。

なお、講演の詳細につきましては、本年 11 月に発行する「豊友会だより 72 号」に掲載される予定です。

その後の 4 年ぶりに開催された懇親会は、傘寿を迎えられた野下晴夫前東京支部長の乾杯の発声で幕を開け、出席いただいた 3 名の執行役にご挨拶をいただきました。内藤 CEO にご挨拶される会員の方々の列は、開始直後から中締めまで途切れることがなく、楽しい歓談のひと時が続きました。

本年 5 月の新型コロナウイルス感染症の 5 類感染症への移行に伴い、懇親会が開催でき、出席された会員からは「久しぶりに懐かしい人にやっと会うことができ、ゆっくり話をすることが出来てよかった」との声を多数いただきました。　　（以上）